復興伝え、友情と文化の架け橋に―

笑顔で感謝 友情つなぐ

平成24年度久慈市中高生海外派遣研修

フランクリン高校フットボール場にて記念撮影。100ヤードをみんなで走り友情を深めました。

それぞれの目標を持って、海を渡った10人の中高生。生徒たちは文化や歴史、人を肌で感じ、貴重な経験と感動を手にしました

姉妹都市のアメリカ・フランクリン市などで現地の生活や文化などを学ぶ「久慈市中高生海外派遣研修」は1月7日から17日まで11日間の日程で実施されました。

研修には市内の中高生10人と代表・引率3人の計13人が参加しました。11月から英語やアメリカの文化などを事前に学習した生徒たちは、久慈市が復興に向けて頑張っていることを笑顔で伝えようと「Smile（スマイル）」をチーム名に決定。さらにチームの目標を「伝えよう！感謝の気持ちと久慈の復興、つながろう！友情・文化の架け橋として」とし、久慈市の代表は自分たちであるという使命感を持って研修に臨みました。

1月7日、市役所で開かれた結団式で、山内隆文市長などから激励を受けた生徒たちは、期待に胸を膨らませ出発。

飛行機で約11時間かけてアメリカに到着しました。

9日にはフランクリン市を訪れ、夕方から開かれた歓迎レセプションでジョー・マクギネス市長やホームステイ先の家族などから熱烈な歓迎を受けた生徒たちは英語で堂々スピーチ。笑顔で積極的に交流を深めました。

生徒は同日から4泊5日のホームステイをスタート。語学研修を通して家族と心を通わせました。また、現地の学校では書道や茶道のほか、折り紙などで交流。日本の文化と魅力を伝えました。

研修の全日程を無事に終え、1月17日の到着式では充実した表情を見せた生徒たち。アメリカの文化や歴史、家族を肌で感じた貴重な経験と感動を糧にして、今後、大きく成長してくれることでしょう。

研修先の位置関係

感謝を伝え、笑顔の交流

1／ホストファミリーと一緒に記念写真
2／研修生に教わり、書道に挑戦するジョー・マグギネスフランクリン市長
3／歓迎レセプションでは研修生一人一人が英語でスピーチをしました
4／フランクリン市の中学生に茶道を披露
5／地元の高校生と折り紙などワークショップを通じて交流を深めました

Schedule　主な日程	
1／7	市役所で出発式 移動（日本出国・航行12時間で米国到着）
1／8	シカゴで市内研修
1／9	シカゴから移動 フランクリン市で市長表敬訪問／歓迎レセプション／ホームステイ（13日まで4泊5日）
1／10−11	フランクリン市内の学校で語学研修、茶道の指導ほか文化交流
1／12	終日ホストファミリーと交流
1／13	フランクリン市から移動 ワシントンDCで市内研修
1／14	ワシントンDCで市内研修
1／15	移動（米国出国・航行14時間）
1／16	移動（日本帰国）
1／17	市役所で到着式

海外派遣研修報告会を開催

■日時…2月16日(土) 13時～
■会場…アンバーホール

貴重な経験を財産に

実感、抱負

生徒10人と3人の引率者から、研修で実感したことや今後の抱負などを伺いました。

Impressions and Hopes

温かさは不安

菅野　弘 代表
（学校指導課）

「人の心の温かさは、国境を越えても変わらない」ものでした。きっと生徒たちも同じ思いだったと思います。

一生の宝に

兼田日向子（ひなこ） さん
（久慈中2年）

研修先では人々の温かさを感じました。勉強では味わえない生のアメリカに触れたことは一生の宝です。

国民性まねたい

谷地快歩（かいほ） さん
（久慈中2年）

一番印象に残っていることは、アメリカの人たちの温かさ。すばらしい国民性をまねていきたいです。

一期一会を体感

小倉　環（たまき） さん
（長内中2年）

「一期一会」を肌で感じました。人とのコミュニケーションを通して学んだことは一生の財産です。

授業で生かす

冷野澤和夏（ひやのさわか） さん
（大川目中2年）

とても楽しく、日が過ぎるのがとても早く感じました。本場の英語を授業でも生かしていきたいです。

意見と優しさ

中田優愛（ゆりあ） さん
（夏井中2年）

アメリカの学生は、自分の意見をしっかり持っていて、みんな優しかったです。また行きたいです！

不安は安心へ

桑田路子（みちこ） さん
（侍浜中2年）

不安は、ホストファミリーがいろいろ聞いてくれて安心へ。英語の力を身に着けまた行きたいです

体験伝えたい

小田和樹（おだかずき） さん
（宇部中2年）

ホームステイでたくさんの思い出ができました。貴重な体験を多くの人に伝えたいです。

理解に感謝

宇部瑞穂（みずほ） さん
（三崎中2年）

私の英語を理解しようとしてくれたアメリカの人たちに感謝。人生で一番楽しく、短い11日間でした。

自由と責任の国

瀬川桜花（さくら） さん
（久慈高2年）

日本にない自由と責任を強く感じました。また、音楽、スポーツ、愛は国境を越えることも実感しました。

11日間は宝物

八木澤菜緒（なお） さん
（久慈東高2年）

研修を終え、アメリカ人の心の温かさがとても印象的。11日間は私にとって、素敵な宝物になりました。

優しさが響いた

宅石　忍 先生
（三崎中）

多くの皆さんから温かい歓迎ともてなしを受け感激。津波被害を気遣う人々の優しさが胸に響きました。

改めて良さ実感

関向真介（しんすけ） 先生
（侍浜中）

アメリカを肌で感じ、改めて日本の良さ、恵まれていることのありがたさを感じることができました。